

第5期 雄武町総合計画 後期実施計画書 兼 事務事業評価調書

様式1

No. 09020160

政策目標	1 はつらつ・雄武～地域産業の振興～	会計区分	1 一般会計	【全体計画内容】※後期実施計画期間外の計画期間を有する場合のみ記載
基本施策	2 林業の振興	事業優先度	B	
単位施策	2 多面的機能の発揮	政策事務分類	3 単独自治事務(その他)	
事業名	林道維持管理事業	見直し年度		
事業期間	平成25年度～平成29年度	担当課	9 産業振興課	
事業主体	雄武町	関係課	#N/A	
事業指標	林道の適切な維持管理		#N/A	
事業目標	林道の安全な通行	ハード/ソフト 事業区分	2 ソフト事業	
住民参加	無	関係例規・法令名	無	
住民協働		関係個別計画名	無	

		平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	
全 体 計 画		事 業 内 容	事 業 内 容	事 業 内 容	事 業 内 容	事 業 内 容	
計 画 内 容	路肩草刈、排水溝清掃、枝落し ピヤシリ越線林道防塵補修	路肩草刈、排水溝清掃、枝落し ピヤシリ越線林道防塵補修	路肩草刈、排水溝清掃、枝落し ピヤシリ越線林道防塵補修	路肩草刈、排水溝清掃、枝落し 奥幌内本流線・共立線測量設計委託 ピヤシリ越線他小規模林道整備工事	路肩草刈、排水溝清掃、枝落し 奥幌内本流線他小規模林道整備工事	路肩草刈、排水溝清掃、枝落し ピヤシリ越線林道防塵補修	
	事業費(千円)	46,040	2,700	3,240	17,000	19,600	3,500
計 画 事 業 費	財源内訳						
	国庫支出金	0					
	道支出金	14,000			5,000	9,000	
	地方債	0					
	その他	0					
一般財源	32,040	2,700	3,240	12,000	10,600	3,500	
実 績 事 業 費	事業費(千円)	24,799	2,594	3,240	18,965	0	
	財源内訳						
	国庫支出金	0					
	道支出金	6,100			6,100		
	地方債	0					
その他	0						
一般財源	18,699	2,594	3,240	12,865			
関 連 事 項	特定財源の名称 地域づくり総合交付金 (小規模林道整備事業)	【評価・実績】	(実施内容等) 路肩草刈、排水溝清掃、枝落し ピヤシリ越線林道防塵補修	(実施内容等) 路肩草刈、排水溝清掃、枝落し ピヤシリ越線林道防塵補修	(実施内容等) 路肩草刈、排水溝清掃、枝落し 奥幌内本流線・共立線測量設計委託 ピヤシリ越線他小規模林道整備工事	(実施内容等)	
			※事務事業評価結果 A-継続/現状維持	※事務事業評価結果 A-継続/現状維持	※事務事業評価結果 A-継続/現状維持	※事務事業評価結果	
	前記計画からの継続 (継続有り)	年度目標値	無事故	無事故	無事故	無事故	
		年度達成率		96%	100%	112%	0%
	第6期計画への継続 (継続有り)	全体達成率		6%	13%	54%	54%
	備考欄						

事業名	林道維持管理事業	評価者 管理職 職氏名	産業振興課長	横田 和幸
		評価者 作成者 職氏名	林務係長	渡部 憲一

様式1
平成27年度実施
平成28年度評価

■事務事業の目的・内容(Plan・Do)

【誰、何が(対象)】	林道の通行者	望ましい指標(目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)	無事故
【抱える課題やニーズは】	林道の路肩に草・灌木が繁茂し、見通しが悪く、また、林道の経年劣化で車両通行上危険な箇所がある	指標(指標計算式/解説)	目標値及び実績値
【どのような状態になることを目指したのか(意図)】	安全さと快適さの確保	①	事故発件数
【その結果、どのような成果を実現したいか】 ※成果=目的	通行者の安全確保		目標年度 平成27年度 目標値 0件 実績値 0件 達成度 100.0%
		②	目標年度 平成27年度 目標値 実績値 達成度 #DIV/0!%
【内容(どのような手段で何を行ったか)】	①維持管理の委託	林道通行者の安全確保、林業経営の安定化を図るため、北隆線ほかの路肩草刈・立木整理を行う委託業務を実施した。	
	②工事の実施	経年劣化等で路盤洗掘や法面崩れのあった、ピヤシリ越線の整備工事を実施した。	
	③測量設計の委託	経年劣化等で路面亀裂や法面崩れのある奥幌内本流線、共立線の測量設計を委託した。	

■事務事業の評価(Check)

(1)事務事業の必要性(町民ニーズ、社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事業を実施しない場合の支障、既存事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

必要	<input type="checkbox"/>	義務的なもの	林道は林業経営のみならず、レクリエーション・教育・保健休養など様々な形で利用されており、通行者の安全確保と防災上の観点からも林道の維持管理、補修は必要である。
必要/概ね必要	<input type="checkbox"/>	全部	
課題あり	<input type="checkbox"/>	一部	

(2)事務事業の有効性(期待する効果が得られたか)

有効	<input checked="" type="checkbox"/>	設定した目標値の達成状況	路盤洗掘や法面崩れの補修工事と路肩草刈や立木(支障木)整理を行った結果、危険箇所が解消され、林道通行者の安全確保が図られた。
有効/概ね有効	<input type="checkbox"/>	ほぼ達成	
課題あり	<input type="checkbox"/>	下回る	

(3)事務事業の効率性(コストに見合った効果が得られたか、計画上のコストを下げる工夫をしたか)

効率的	<input checked="" type="checkbox"/>	判断の理由	利用頻度の高い路線や危険箇所がある路線を優先的に補修、路肩草刈を2回実施、その他の路線は路肩草刈を1回実施とし、利用頻度を考慮した最小限の維持管理を実施している。
効率的/概ね効率的	<input type="checkbox"/>	事業費抑制	
課題あり	<input type="checkbox"/>	人員削減	
	<input type="checkbox"/>	時間短縮・作業軽減	
	<input checked="" type="checkbox"/>	その他	

(4)事務事業の公平性

公平	<input type="checkbox"/>	判断の理由	林道は誰でも利用することができる。
公平/概ね公平	<input type="checkbox"/>	受益者負担がある	
課題あり	<input type="checkbox"/>	受益者負担がない	
	<input type="checkbox"/>	受益が一部に偏る	
	<input checked="" type="checkbox"/>	その他	

■その他特記事項(アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入)

■総合評価【A~D】

A:計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当 等
B:ほぼ計画どおりに進んでいるが目標を達成していない。事業の進め方に改善が必要 等
C:当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要 等
D:事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要 等

自己評価(一次評価)	評価会議評価(二次評価)	町長評価(三次評価)
A		
林道通行者の安全確保のみならず、防災上の観点からも林道の維持管理、補修は必要であり、計画どおり事業を進めることが適当と判断する。		

今後の展開方向
(Action)

継続/現状維持		
森林の維持管理や森林施策のため必要な基盤施設であり、林道交通の安全確保のためにも、維持管理や補修を継続して実施する必要があることから、現状維持が適当である。		

※展開方向の区分
○継続/現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更
○終了 ○休止 ○廃止